

<学習内容>

- ▶ 鎌倉幕府の滅亡
- ▶ 建武の新政
- ▶ 南北朝時代
- ▶ 室町幕府のしくみ
- ▶ 日明貿易
- ▶ 一揆の多発
- ▶ 応仁の乱
- ▶ 室町時代の経済の発達
- ▶ 室町時代の文化

鎌倉幕府の滅亡

■後醍醐天皇の挑戦

政治の実権を幕府から取り戻そうとしていた^{ごだいごてんのう}後醍醐天皇は、
鎌倉幕府に不満を持つ御家人の^{あしかがたかうじ}足利尊氏らを味方につけて鎌倉幕府を滅ぼした（1333年）。



▲後醍醐天皇



▲足利尊氏

→ 鎌倉幕府
攻撃

建武の新政

■建武の新政

鎌倉幕府の滅亡後，後醍醐天皇は武家の政治を否定し，公家（貴族）重視の政治を行った（**建武の新政**）。

⇒武士たちの間で不満が高まり，足利尊氏が武家の政治の復活を目指して兵をあげると，建武の新政はくずれた。



▲後醍醐天皇

VS



▲足利尊氏

南北朝時代

■南北朝時代（1336年～1392年）
足利尊氏は京都で新しい天皇を即位させた。一方、後醍醐天皇は奈良に逃れたので、二つの朝廷が生まれた。
⇒二つの朝廷があった時代のことを**南北朝時代**という。

■室町幕府の成立（1338年）
足利尊氏は征夷大将軍に任命され京都に**室町幕府**を開いた。



一問一答

貴族を重視し、武士の不満が高まった結果約 3年で失敗に終わった後醍醐天皇が始めた新しい政治を何と言いますか。

並びかえ問題

次の①～④の出来事を年代の古いものから順に番号を書きなさい。

- ① 後醍醐天皇が建武の新政を始める。
- ② 後醍醐天皇が足利尊氏などを味方につけ、鎌倉幕府を倒して、政治の実権を幕府から取り戻した。
- ③ 後醍醐天皇の政治に対して武士の不満がつのる。
- ④ 朝廷が、尊氏側の北朝と後醍醐天皇側の南朝に分かれ、南北朝時代が始まった。

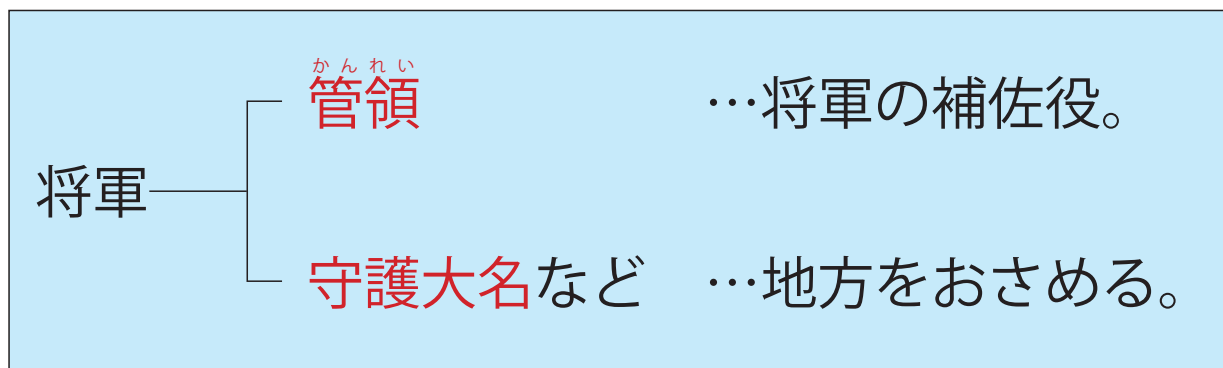
→ → →

室町幕府のしくみ

■南北朝時代の統一

3代将軍の足利義満は南北朝を統一した。さらに足利義満は、有力な守護大名をおさえ、幕府の制度も整えた。

■室町幕府のしくみ



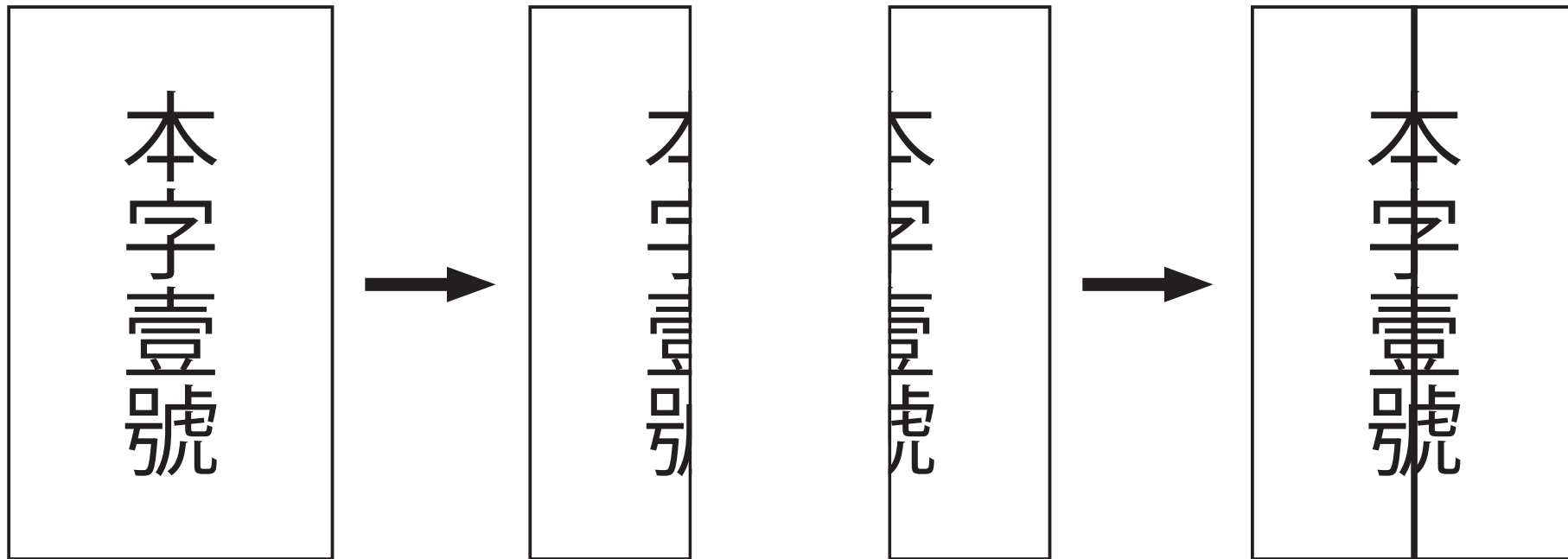
▲ 足利義満

日本と明(中国)との貿易

■日明貿易 (勘合貿易)

明が倭寇のとりしまりを求めて来たので、足利義満は勘合を使用した。

(勘合)



空欄補充問題

空欄に当てはまる用語をそれぞれ答えなさい。

室町幕府3代将軍の（ a ）は、南北朝を統一し、（ b ）貿易を始めた。

a.

b.

一揆の多発

① 1428 年

正長の土一揆〔徳政一揆〕：馬借・農民が徳政を求める。

② 1485 年～

山城の国一揆：農民などが守護大名を追放し 8 年間自治を行う。

③ 1488 年～

加賀の一向一揆：浄土真宗の信者が守護大名を倒し、100 年近く自治を行う。

応仁の乱

応仁の乱（1467年～）：

8代将軍足利義政の跡継ぎ争いに守護大名の対立がからみ、京都を舞台に11年間争う。

→京都は焼け野原になり、幕府の権威は低下。



▲足利義政



▲応仁の乱

北山文化

■時期と特徴

- ① 時期：室町時代前期（室町幕府3代将軍足利義満のころ）
- ② 特徴：伝統的な公家文化と武家文化の融合

■北山文化

金閣（京都府）：3代将軍足利義満の別荘

▶
金
閣



東山文化

■時期と特徴

- ① 時期：室町時代後期（室町幕府 8 代将軍足利義政のころ）
- ② 特徴：禅宗の影響を受ける。

■東山文化

- ① 銀閣（京都府）：8 代将軍足利義政の別荘
 - ◎書院造（現在の和室のもとになった様式）
- ② 庭園：枯山水（禅宗寺院の庭園）
- ③ 絵画：水墨画（墨の濃淡で描く・雪舟が大成）

東山文化



▲銀閣



▲雪舟の水墨画

四択問題

北山文化について、最も適当なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア. 仏教の力にたよって国家を守ろうと、諸国に国分寺と国分尼寺、都に東大寺が建てられた。
- イ. 中国で学んだ雪舟は墨の濃淡で表現する水墨画を大成した。
- ウ. 運慶・快慶は東大寺南大門に金剛力士像を制作した。
- エ. 室町幕府3代将軍の足利義満は金閣を建て、死後寺院となった。